

ウエルハーネスだより

205号

理事長からの言葉



上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和5年6月25日発行

梅雨らしい日々が続いています。相変わらず、晴れると30度を超える日もあります。また、越谷方面では線状降水帯による集中豪雨でかなりの被害があったようです。最近、梅雨の終わりにはこの集中豪雨が局地的に起こるので、気をつけなくてはと思います。

さて、政府は今月中に「骨太の方針2023」をまとめます。それに対して先月29日財務省の財政制度等審議会は、来年度の介護報酬等の改定について、「給付費自体の抑制に取り組み、制度の持続可能性を確保する必要がある」と提言しています。これは、物価高に応じた報酬アップを求める介護事業者にとって、高い壁となり続けています。これは今に始まったことではありません。財政再建をめざす財務省にとって、無尽蔵に増え続ける高齢者の医療・介護費はまずもって抑制しなければならない天敵ともいえます。

これに対して加藤厚生労働大臣は、5月26日の政府の経済財政諮問会議で、診療報酬や介護報酬の大幅な引き上げが必要との認識を示しています。「足元で物価が大きく上昇しており、(医療機関や介護事業者などは)公的価格のもとで経営状況の悪化につながっている。賃上げも他分野に比べて進まず、人材確保の観点からも報酬の大幅な増額が必要」とし、インフレ基調に対応した診療報酬と介護報酬のアップが不可欠としました。5月22日には自民党の社会保障制度調査会・介護委員会が次期改訂時に介護報酬を大幅に引き上げるよう厚労省へ要望書を提出しました。

現在、特養や通所介護の4割は赤字です。コロナ禍により2022年度決算ではさらに赤字の事業所が増えると思われれます。その上、現在の原料等の値上げによる物価の急上昇。このままいくと1・2年は蓄えで赤字を補ったとしても、その後は倒産する事業者の増加が予想されます。制度があってサービスなしという

状況になることが予想されます。特に小規模な事業者ほど事態は切実です。

また、皆さん、処遇改善加算等で介護職員の給与アップはできているのではないかとお思いになるかもしれません。しかし、いただいた加算は全額職員に渡さなければならない、加算対象でない職員の分は独自に給与改善する等、一見増収になったように見えるのですが、事業者に入る収入は減額になっています。そのため、収支差額が赤字になるところが増えていきます。

5月31日はさらに追い風が吹きました。自民党の「介護福祉議員連盟(麻生太郎会長)」と「地域の介護と福祉を考える参議院議員の会(末松信介会長)」が連名で大幅な介護報酬アップを訴える決議文を鈴木俊一財務大臣へ提出しました。決議文では、今まで述べてきたような我々介護事業者の苦しい状況を正しく理解しています。その上で

『骨太の方針2023』の策定にあたっては、物価高騰等による介護分野の厳しい現状に配慮し、令和6年度介護報酬改定等における経営の安定性確保と十分な賃上げを図るに不足ないプラス改定や、さらなる支援策等の実現を目指した積極的な取り組みについて、明記することを求める」

としています。かつて財務大臣を務めた麻生さんだけに、この決議文は大きな意味を持つと思います。ただ、財源については明確にせず、財源確保を優先すると述べるに留まっている点が不安です。岸田総理は少子化対策の3.5兆円の財源について、新たな国民負担は求めないとしました。とはいっても少子化対策、医療報酬・介護報酬の大幅アップ、負担増なしでは無理だと思います。選挙対策で先送りにするのではなく、国民に負担増の説明を丁寧にする必要があるのではと思います。

5～6月の行事

特養では居室での面会が始まって一ヶ月半が経ちましたが、多くの方々においでいただき、ありがとうございます。

デイサービスではバラ、菖蒲、ポピーなどのお花見をかねたドライブに行きました。また、お手玉飛ばし、魚釣り、人生ゲームなどのゲームも楽しめました。ボランティアの方々でオカリナ演奏会も開かれました。

6～7月の予定

特養ではお誕生日会やお茶会を予定しています。

デイサービスでは午前中は塗り絵、クイズ、間違い探しなど、午後はゲームやカラオケを楽しむ予定です。また、お誕生日会も予定しています。

デイ オカリナ演奏会



夏至の季節献立



デイお花見ドライブ



特養お誕生日会



特養 母の日壁面飾り